

「石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)

萌黄 (もえぎ)

通信

2007年 3号 NO.36
<http://www.e-kands.jp>

みなさん、季節の変わり目で気温の
 化が激しいですが、元気に頑張ってい
 ますか？
 春は、もうすぐそこまで来ていま
 ね。

*「萌黄通信」は写真入になりました。
 メール配信ご希望の方は、kandsstg@jt4.so-net.ne.jp までお知らせ下さい
 *社長ブログ「石材メンテナンスの旅」はじめました。
 K&Sホームページ<http://www.e-kands.jp>

山梨県のイベント
 「4/7信玄公祭り」
 武田信玄公の命日(4/1)を中心各地で信玄を偲ぶ祭りが執り行われますが、そのメインはなんとといっても、「甲州軍団出陣」で、今年は、4/7に開催されます。信玄公・騎馬隊で総勢1600人による時代行列は見ものです。

萌黄通信
 発行元 有限会社ケイ・アンド・エス
 本社山梨 電話 0556-22-3237 Fax 0556-22-3236
 東京(営) 電話 03-3431-0387
 メール kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

「この壺はなあに？」
 カノポス容器といって、ミイラを作るときに内臓を分けて取り除きます。四つの主な臓器(肝臓・肺・胃・腸)は、保存処理のために、塩やオイル、樹脂の中につけられます。

その後、ミイラとともにこのカノポスの容器に入れられ、死者が新しい生活に入った時にいつでも使えるように、墓の中に収められます。壺は方解石で出来ていて、壺のふたの部分には、人間や動物の頭が彫られていて、臓器をそれぞれ守る神とされていました。人間の頭を持つイムセティ神は肝臓をまもり、ヒヒの頭を持つハピ神は肺、ジャッカル頭を持つドゥアムウトエ神は胃、



ハヤブサの頭を持つケベフセヌウエフ神は腸を保護しました。



剥離に限界があるのと、時間が掛かりすぎるので、やはり、施工エマニユアルをしっかり見て施工することを勧めます。初めてのの方は、必ずテスト施工してください。

「浸透性コート剤のムラ」
 最近の自然色仕上げの浸透性コート剤は施工エマニユアル通りに、施工すれば、ほとんど、失敗無く綺麗に仕上がるのですが、年に数回ですが、コートでのトラブルが起こり、ムラを作ることがあります。ムラを作る原因のほとんどは、コートの液溜まりをそのまま放置する事で起こるコートムラで、中国での施工時に多いですね。原因はおそらく毎回、かりその施工部隊が出来て、施工慣れしていないので、ついつい拭き上げを怠ってしまうことから起こるようです。その他の原因は、洗浄後の乾燥養生をしつかり取らないで、コートを塗布したときにも起こります。施工後、すぐならば、比較的直してもうまくいくことがあるのですが、1週間後くらいにクレームになると、コーティング剤も乾燥しきってしまっ、手直しが厄介です。専用の剥離剤もあるのですが、浸透性コート剤の



ホテルやレストランなどでは、かなり苦労している方が多いので、朗報になればと思います。



剥離に限界があるのと、時間が掛かりすぎるので、やはり、施工エマニユアルをしっかり見て施工することを勧めます。初めてのの方は、必ずテスト施工してください。

「大理石カウンターテーブルのツヤぼけに朗報！」
 大理石のカウンターやテーブルは、飲食のせいで、すぐにツヤぼけが起こってしまいます。大理石の場合は、研磨をすれば、復元できるのですが、1ヶ月もしないうちにすぐに、飲み物の輪ジミやつやぼけが起こってしまいお客様からは何とかならないのと言っ問合せが多かった、課題を残していた所です。
 いままで、塗膜のコートや浸透性の2重コーティングとかいろいろ試してきましたが、あまりいい結果が出ないまま今までできています。
 そこで、現在、メーカーと直接、こちらの要望を話しての、コーティングづくりに励んでいます。
 今までは、シリコンがメインでしたが、これだと、シリコン本来の石の呼吸を止めないという、石にとってメリットな部分が却って、カウンターには、災いしていたのを逆手に？取る方法です。合成樹脂を少し添加することで、その隙間を埋めるという方法なのですが、果たして、結果は？ いろいろテスト施工後に、また、この場で報告したいと思えます。